

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	賦課徴収費					
担 当 課 係 名	税 務 課		納 税 係		作成者	伊藤清美
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち				総合計画の ページ
	基本計画	社会保障（国民健康保険、国民年金、公的扶助）の充実				
	主要施策	国保財政の健全化				59
予 算 費 目	国民健康保険特別 会計	1 款 総務費	2 項 徴税费	1 目 賦課徴収費		
事 業 期 間	平成 19 年度 ～ 平成 19 年度			新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☒ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市内国民健康保険加入者
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	収納率向上
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	徴収嘱託員を雇用し収納業務を行う。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	分割納付者及び未納者の徴収等	人		2	
	成果指標	徴収率	%	92	93	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			4,314	7,215	
	財源内訳	国庫支出金			2,504	
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		4,314	4,711	
	人件費 (B)		—	7,853	8,071	
		職員数	—	1.0	1.0	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	12,167	15,286	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		7,643,000	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	382	487	

【事務事業の今までの成果】

平成19年8月より徴収嘱託員2名雇用し、分割納付者等の納付状況の改善につながっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国・県の指導により他の自治体に於いても収納率向上対策事業を行っている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	嘱託員雇用により、分納納付者等の納税折衝及び訪問徴収で収納率向上に繋がる。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	嘱託員雇用による国保税徴収率が向上してる。引き続き事業推進し、税の収納率の向上に努める必要がある。

一次評価診断図

